

林産試ニュース

●決定！コンクール審査結果発表

7月24日(土)から好評開催中の第13回木のグランドフェアも、いよいよ最後のイベントを残すのみとなりました。先月号でお知らせしましたとおり、9月11日(土)から木と暮らしの情報館にて「第12回北海道こども木工作品コンクール」展および「第4回アート彫刻板作品コンクール」展が始まっています(10月15日(金)まで)。9月中は土日も開館しておりますので、ご家族そろってご来場ください。

最優秀賞を受賞されたのは次の皆さんです。その他の入賞作品は、<http://www.fpri.asahikawa.hokkaido.jp/ivent/grand/16grand/mokko.htm>で紹介しています。

第12回北海道こども木工作品コンクール

◇木工工作団体部門

滝上町立濁川小学校5年生

◇木工工作個人部門

阿寒町立布伏内小学校4年生 八幡史哉

◇レリーフ作品部門

厚沢部町立鶉中学校3年生 関野紘史

第4回アート彫刻板作品コンクール

旭川市立神楽公民館百寿大学 谷川栄子



写真 コンクール作品展示の様子

●「木と暮らしの情報館」が冬期の開館日になります

10月1日から来年の4月30日までの冬期間においては、土・日曜日、祝日、および年末年始(12月29日～1月3日)が休館日になります。平日は開館していますので、引き続き多くの方々のご来場をお待ちしています。

●「北海道食品産業総合展」に参加します

10月14日(木)～16日(土)の3日間、アクセスサッポロ(札幌市白石区)において、道産食品の販 拡大や加工技術力の向上を目指す「第3回北海道食品産業総合展」が開催されます。食品関係の企業・研究機関・大学などの交流を支援するための「食品技術展」と展示即売などが行われる「食フェア」を中心として、食に関する様々なイベント、セミナー等が行われます。

林産試験場は、技術移転を促進するための「技術成果発表会」において、きのこ部の最近の成果を発表します。みなさんも来場して北海道の「食」を楽しんでみませんか。総合展の詳細は、<http://www.bpsc.jp/hokkaido/index.html>をご覧ください。

●「木育推進プロジェクトチーム」のメンバーに選ばれました

「木育(もくいく)」という言葉の意味が分かりますか？実はこれは北海道が作った新しい言葉です。子供の遊び環境や生活空間に木材を使い、その大切さを伝えることで森林と環境を考える心を育てる、という意味です。

この「木育」についての政策を道民のみなさんと行政が連携・協力して検討する「木育喫進プロジェクトチーム」が平成16年9月に設置され、利用部材質科の根井三貴研究職員が公募メンバーに選ばれました(平成17年3月まで)。今後、林産試験場の技術・知識が「木育」の喫進に活かされることが期待できます。

プロジェクトの概要は道知事政策部審,
<http://www.pref.hokkaido.jp/tseisaku/ts-sanji/2004homepage/index.htm>をご覧ください。

林産試だより

2004年 9月号

編集人 北海道立林産試験場
HP・Web版林産試だより編集委員会
発行人 北海道立林産試験場
URL: <http://www.fpri.asahikawa.hokkaido.jp/>

平成16年9月24日 発行
連絡先 企画指導部普及課技術係
071-0198 旭川市西神楽1線10号
電話0166-75-4233 (代)
FAX 0166-75-3621